

お知らせ

十一月例会

期日…立教 187 年 11 月 25 日
 時間…12 時 30 分受付 担当者大会終了後
 会場…第二食堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

教区	期日	時間	会場
・高知	11 月 8 日	13 時～	教務支庁
・鳥取	11 月 30 日	13 時 15 分～	教務支庁
直属	11 月 23 日	12 時 15 分～	分教会
・淀	11 月 23 日	13 時 30 分～	大教会
・奈良	11 月 23 日	13 時 30 分～	大教会
・小南部	11 月 29 日	8 時 30 分～	大教会

報告

九月例会

去る 9 月 25 日、本部 12 母屋 3 階講堂において「9 月例会」を開催。出席は 38 教区、87 直属。

各地の動き

教区学生層育成者講習会
 ・岩手 9 月 1 日 教務支庁
 清水慶政委員長
 ※台風の影響によりオンライン開催
 直属学生層育成者講習会
 ・鹿島 9 月 22 日 大教会
 清水慶政委員長外出 74 名

人事

《立教 187 年 9 月 25 日付》
 【直属学生担当委員長辞令交付】
 ・高橋道成（牛込・品川）

業務記録

《立教 187 年 9 月 16 日～10 月 15 日》
 9 月 17 日 事務局連絡会
 24 日 担当者活動部部会
 25 日 委員会 例会
 教区担当者懇談会
 まなびば研究室会議
 広報室会議
 10 月 2 日 まなびばチーム会議
 5 日 学修部部会
 7 日 大学の部研究室会議
 高校卒業生コース研究室会議
 まなびば研究室会議
 春の学生おぢばがえり
 プロジェクトチーム会議
 8 日 委員会
 学生連絡会
 学生部部会
 人材育成部部会
 広報室会議

学生担当者報 11

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 清水慶政 編集責任者 / 中山祥吉
 Vol. 453 立教 187 年 2024 年 10 月 25 日発行
 TEL 直通: 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780 E-mail tsa@tenrikyo.or.jp
 TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp Happist https://happist.net

「形が変わっても、思いは変わらず」
 「Happist」ってどういう意味なんだろうと気になることがあつた。インターネットが普及した今、気になることは検索するとすぐに答えが見つかります。「Happist」とは、「Happy 人」という意味の造語でした。そのまま「ん！ と言う声が聞こえてきそうですが、もう一つ、「ハッピーを着た人」という、粋な意味もあるようです。
 Happist は、三代真柱様の「学生会のバックアップだけに留まらず、学生層全般についてのあり方を検討してほしい」との思いを受け、昭和 62 年 9 月に「高校生マガジン はっぴすと」の創刊号が誕生しました。それ以来、32 年間にわたり 379 号を発行し、平成 31 年 4 月からは We

「形が変わっても、思いは変わらず」
 b マガジンとして配信しています。現在、学生のスマートフォン普及率は 98% を超えているそうです。この状況を活かして、普段の生活で活用できない学生にも Happist の存在を伝え、一人でも多くの若い人たちが教えを知るきっかけや信仰の喜びを感じられる手立てとして活用してほしいと思います。
 Happist では、教祖百四十年祭に向かうこの時々に、学生が少しでも教祖の親心に触れてもらえる機会になるようにと、昨年 4 月から「おやさまを求めて」を全 36 回にわたって連載しています。本編は、教祖伝に基づいて教えがとも分かりやすく説明されています。また、当時の出来事に対して、そこに込められた親心や教祖のお言葉

の意味、時代背景なども併せて解説されていて、より一層深く教えを学んでもらうことができると感じています。
 そして、回ごとの内容を 1 枚にまとめた印刷ページを作成しました。学生会行事の中で、学生と一緒に教えに触れる時間を作ったり、印刷して配布するなど、さまざまな目的に合わせて使用していただきたいと存じます。
 今期の活動方針「教祖を慕い、ひながたを辿る喜びを共に味わおう」との思いの上からも、学生たちが教えに触れ、教祖のことを知り、ひながたを頼りに喜びを感じながら日々を過ごすことができるように、教えを学ぶ教材の一つとして、これからも Happist をよろしくお願いいたします。

学生部 委員

春野 三千彦

令和 6 年 学生担当委員会 活動方針
 「教祖を慕い、ひながたを辿る喜びを共に味わおう」

道の学生ひのきしんDAY 開催報告

9月16日、「心晴れやかに、さあ勇もう！」をスローガンに「道の学生ひのきしんDAY」が25教区42会場（実施計画書に基づく）にて開催されました。

おやさど会場では、天理養徳院を会場に40名（参加者22名、スタッフ18名）の学生が施設の子どもたちのお世話取りをさせていただきました。まずは学生たちでアイスブレイクを行い、参加者同士の交流を深め、緊張をほぐしました。その後、会場へ向かい、事前に企画したレクリエーションを行い、子どもたちとの交流を楽しみました。

学生担当者報

限られた時間ではありませんでしたが、施設の子どもたちとの交流の中で生かされている喜びを感じているようでした。



→ひのきしん終了後、お茶所前で記念写真

教区学生会リーダーの集い 開催報告

天理教学生会では、10月12、13日の1泊2日の日程で、第7・8・9母屋を会場に「教区学生会リーダーの集い」を開催し、総勢79名の学生が参加しました。（21教区43名、スタッフ36名）

1日目は、ウォーミングアップで緊張をほぐした後、班ごとに分かれ、それぞれの学生会活動に対する気持ちについて振り返りました。その後、「おたすけ」をテーマに、学生会活動をする中で仲間に助けられたエピソードや、誰かの助かりに繋がったエピソードを話し合いました。そして、共に活動する仲間へ日頃の感謝を伝え合い、身の回りのありがたいことを見つけました。

2日目は、主に学年別や立場別の話し合いを行いました。学年別で

は、どのようにして学生会に繋がったかや学生会の理想像などについて話し合いました。そして、これからの学生会に対する夢を発表し合いました。また、立場別では、それぞれの立場ならではの考えや悩みを共有し合い、それぞれの経験談をもとに解決のヒントを得ているようでした。その後、天理教学生会教区部部长武田直也君の感話を聴く時間があり、振り返りの時間では、それぞれの学生会活動と照らし合わせて振り返り、学生会活動に対するモチベーションを高めているようでした。最後に、2日間を通して学んだことをもとに、残りの活動期間に向けた決意を班内で述べ合い、今期の教区学生会リーダーの集いを終えました。

青空

「なぜあなたは天理教を信仰していますか？」

ある日、にをいがけ先で出会った方からの唐突な質問。とっさに出した言葉は、「火傷をおたすけいいただいたから」でした。

私は生後7ヶ月頃に、腕に大火傷を負いました。小さい頃は、その痕を人に見られるのがとても嫌で、長袖しか着なかったり、幼稚園へ行くのを拒んだりするほどでした。

しかし成長するにつれて、教祖の教えに触れ、今ある腕は当たり前ではないことに気付きました。もし、全身にお湯をかぶっていたらどうなっていたのか。大難を小難にしていたらどうなっていたのか。知れば、感謝の心が湧いてきます。

私は、今期から本部スタッフの御命を頂きました。「あなたの救かったことを、人さんに真剣に話さして頂くのやで」という教祖のお言葉を胸に、学生さんに自分の救かった話をしながら、少しでも教えに触れ、教祖を感じる事ができるよう、御用を務めさせていただきたいと思っています。

人材育成部本部スタッフ 永尾 和繁

明日につながる 学生WEBSITE Happist

https://happist.net



QRコード読み取り

- お道の教えや心にグッとくるお話をご紹介
- おちばの行事情報や各地の学生会情報も充実
- 「Happistスマイル」では学生の笑顔をお届け

学生に手軽利用できるリーフレット HAPPIST [NOT] NET

毎月25日発行。例会資料としてお配りしています。部数のご変更は学生担当委員会事務局まで。